

2016/2017年度 PCサーバー出荷調査報告

担当：伊嶋謙二

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705：代表伊嶋謙二03-5244-6691
URL：http://www.norkresearch.co.jp）では2016年度の国内PCサーバーの出荷状況を調査した。2017年度の予測も併せて調査、報告している。

<2016年度/2017年度PCサーバー市場のポイント>

■ 2016年度 455,545台、対前年比95.0%で減少。

－台数は前年比95.0%で、455,545台

－金額は前年比96.6%で、3,013億円

■ シェアは富士通、NEC、HPの上位3社変わらず。

富士通は前年度伸長でトップシェアを獲得。

■ 2017年度は448,100台の見通し。続く台数の漸減傾向。

◇対象期間：（2016年度実績）2016年4月～2017年3月（2017年度予測）2017年4月～2018年3月

◇対象メーカー：電子情報技術産業協会（JEITA）自主統計参加及び未参加メーカー

日本電気、富士通、デル、レノボ（日本IBM）、日本HP、日立製作所、東芝、三菱電機など

◇対象機種：電子情報技術産業協会（JEITA）定義に準ずる

◇調査方法：当該メーカーに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

◇調査時期：2017年6月～7月

—2016年度 455,545台、対前年比95.0%で減少

2016年度トータルで出荷台数は455,545台。上期は前年比90.5%、下期99.3%とともにマイナス成長となった。特に下期は自治体向けや文教向けに大口案件があったが減少となった。上期の減少を下期で取り返すことが出来ず、2016年度トータルのPCサーバーの出荷台数は95.0%と前年割れとなった。

景気の回復感やIoTやAIなどの新たな技術の進歩によりPCサーバー需要の高まりが期待されたが、2016年度ではプラス要因にはならなかった。一方金額市場では前年比96.6%で3,013億円となった。仮想化、集約化により、HDD、SSDやメモリーを多く搭載することによる高単価の傾向が続いていたが、徐々に単価の上昇率は低くなりつつある。

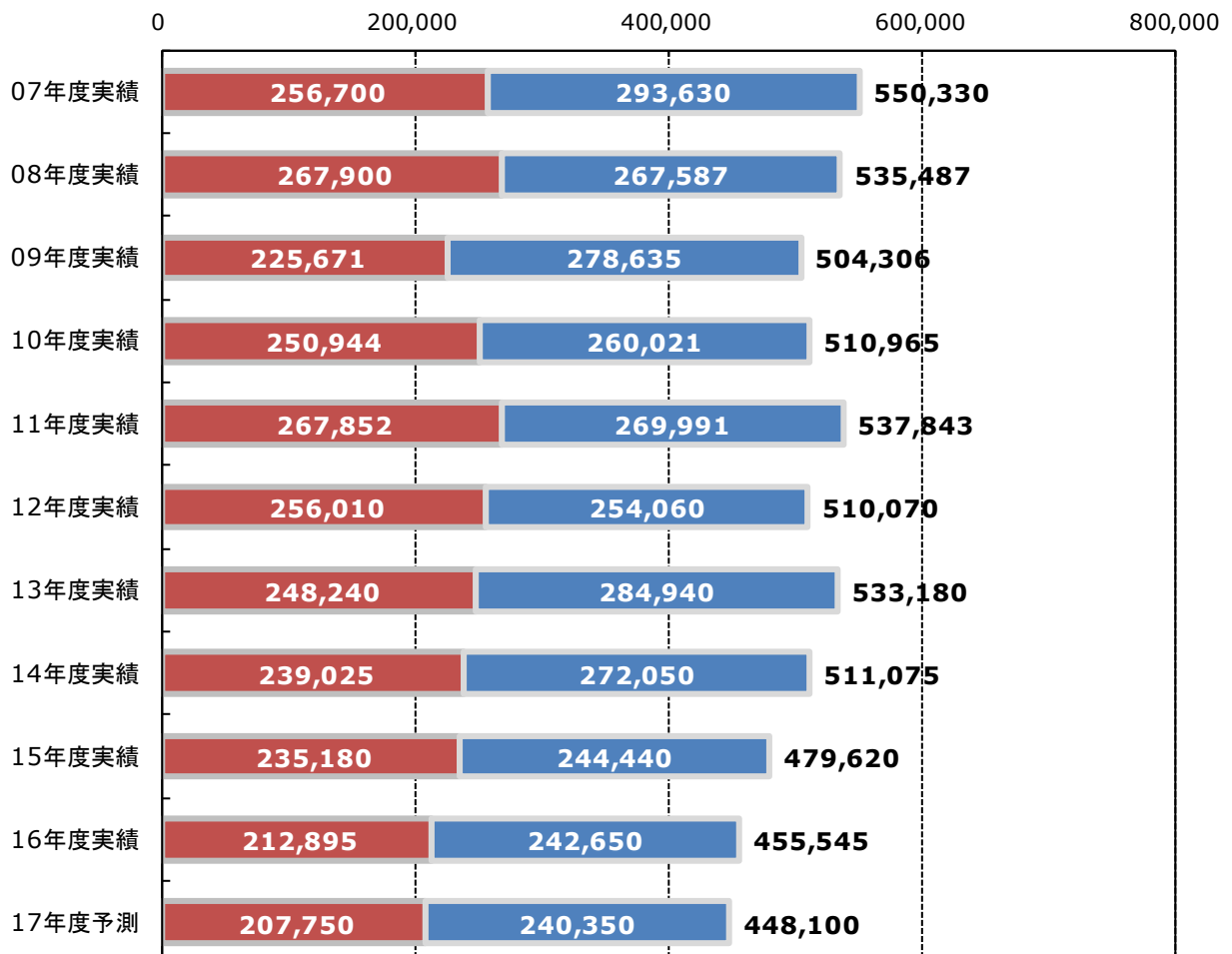
また2017年度もPCサーバー市場の漸減傾向は続き448,100台と予測される。

国内PCサーバー総出荷台数推移(07年度～17年度予測)

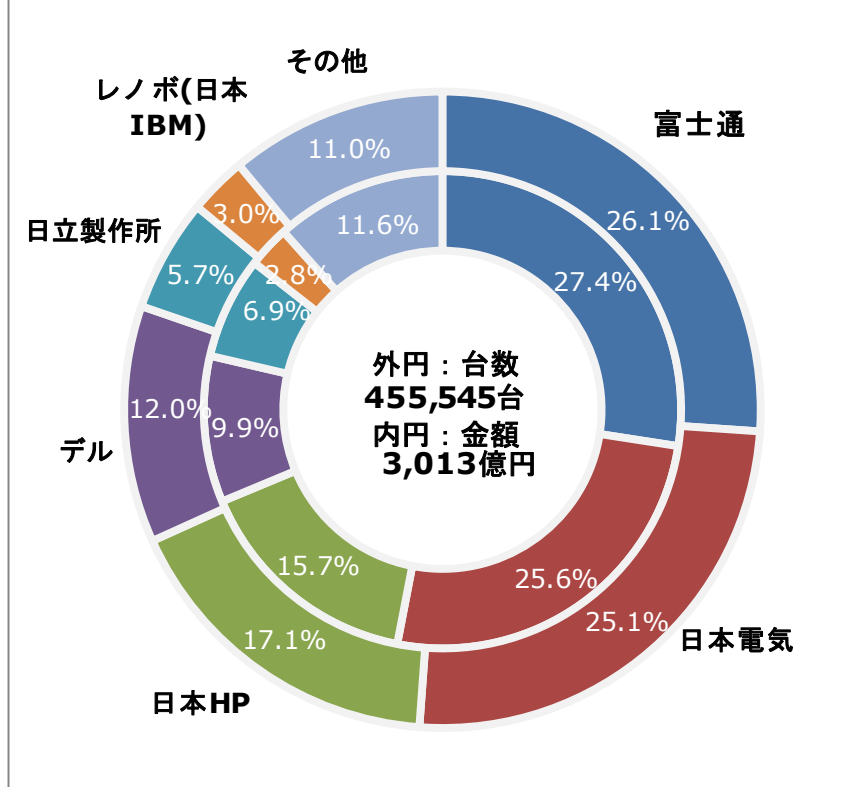
	上期		下期		合計	
	出荷台数	前年同期比	出荷台数	前年同期比	出荷台数	前年比
07年度実績	256,700	95.0%	293,630	104.8%	550,330	100.0%
08年度実績	267,900	104.4%	267,587	91.1%	535,487	97.3%
09年度実績	225,671	84.2%	278,635	104.1%	504,306	94.2%
10年度実績	250,944	111.2%	260,021	93.3%	510,965	101.3%
11年度実績	267,852	106.7%	269,991	103.8%	537,843	105.3%
12年度実績	256,010	95.6%	254,060	94.1%	510,070	94.8%
13年度実績	248,240	97.0%	284,940	112.2%	533,180	104.5%
14年度実績	239,025	96.3%	272,050	95.5%	511,075	95.9%
15年度実績	235,180	98.4%	244,440	89.9%	479,620	93.8%
16年度実績	212,895	90.5%	242,650	99.3%	455,545	95.0%
17年度予測	207,750	97.6%	240,350	99.1%	448,100	98.4%

国内PCサーバー市場推移(出荷台数ベース)

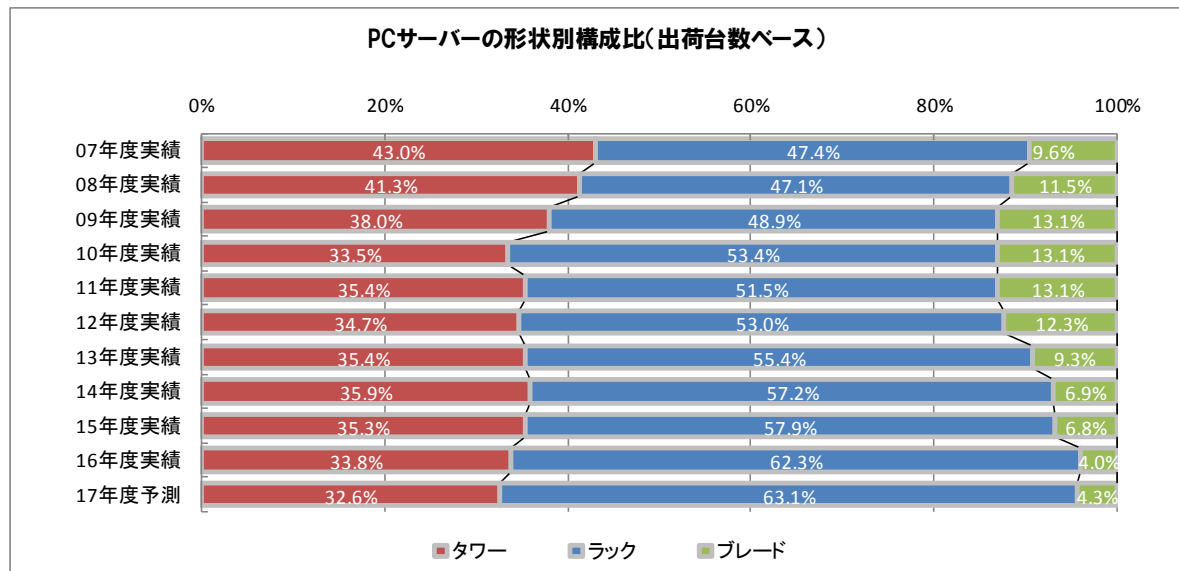
(台)



2016年度PCサーバーメーカーシェア



PCサーバーの形状別構成比(出荷台数ベース)



当調査データに関するお問い合わせ

NORKRESEARCH

株式会社 ノークリサーチ
 担当：伊嶋謙二
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
 inform@norkresearch.co.jp
 www.norkresearch.co.jp